



2026年5月13日

各 位

会社名 株式会社オールアウト
代表者名 代表取締役社長 江幡 哲也
(コード番号 2454 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 森田 恭弘
(TEL 03-6362-1300)

**特別損失及び法人税等調整額（損）の計上並びに
連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ**

当社は、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）において、下記の通り特別損失及び法人税等調整額（損）を計上いたしますのでお知らせいたします。また、2025年5月12日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社が保有する投資有価証券の一部について、取得価額に比べて時価または実質価額が著しく低下したため、減損処理により投資有価証券評価損61百万円を特別損失として計上いたします。

2. 法人税等調整額（損）の計上について

当社は、2026年3月期の業績及び今後の見通しを踏まえ繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2026年3月期において繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額（損）を222百万円計上する見込みとなりました。

3. 連結業績予想との差異について

(1) 2026年3月期連結業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,700	100	100	0	0.00
今回の実績値 (B)	15,464	△108	△110	△473	△33.66
増減額 (B - A)	△1,235	△208	△210	△473	
増減率 (%)	△7.4%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	15,954	10	10	△39	△2.80

(2) 差異が生じた理由

マーケティングソリューションセグメントにおきまして、マーケティングコミュニケーションプラットフォーム「PrimeAd」への投資を継続しており、収益化が投資コストをカバーするに至りませんでした。また、コンシューマサービスセグメントにおきましては、第3四半期に発生したサプライチェーンのシステム課題から商品調達の回復が期末までに間に合わなかったことに加え、国内外ECプラットフォームにおける販促強化の影響を受け売上高が想定を下回りました。

以上の結果、売上高、営業利益及び経常利益が業績予想を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記のほか、前述の「1. 特別損失の計上について」及び「2. 法人税等調整額（損）の計上について」に記載しました影響等により業績予想を下回ることとなりました。

以 上